

りんせん通信

6
2020

発行：アロマセラピールーム林泉 <http://rinsen-aroma.com>

2020年6月7日発行(通巻第112号)

ハーブやお花の香りを保存しましょう。 初夏は、モイスト・ポプリの季節です。

ラベンダーやゼラニウムが咲き出しました。ローズマリーやミントの葉っぱも、青々しています。そんな今の季節におすすめなのが、モイスト・ポプリという香りの保存法。庭のハーブや切り花など、香りの植物で試してみてください。

バラ、ローズマリー、レモンなど
身近な植物で作れます。

おすすめの素材は、バラやラベンダーの花、ローズマリーの葉っぱなど。オレンジやレモンの皮も、いい材料になります。

わたしの一押しはゼラニウム。フローラルな香りがさわやかで、とにかく素晴らしい一言です。花だけでなく、葉も利用できる場所も気に入っています。



【モイスト・ポプリの作り方】

1. 植物を、1～2時間乾燥させます。
2. ガラス瓶などの容器を消毒したら、塩と交互につめます。
3. フタをして、一か月経てば完成です。
※香りが弱く感じるときは、精油を2～3滴落とします。
※ハーブや花以外にスパイスを混ぜると、香りに奥行きがでます。

寝つきをよくしたいときや、
オフィスでの気分転換に。

モイスト・ポプリは、あくまでも穏やかに香ります。ぜひ、寝る前のひととき、容器のフタを傾けてみてください。繊細な香りが寝つきをスムーズにしてくれます。

机のうえに置いておくと、仕事でいい気分転換になります。強く香らないので、まわりに迷惑をかけることはありません。

おすすめアロマグッズ(80)

「バスクリンマルシェ～ラベンダーの香り」
バスクリン

ラバンジン精油配合の入浴剤。香料はもちろん、すべての材料が自然由来ということです。

封を開けると、目の前にラバンジンの花が咲いているようなピュアな香りに包まれました。

疲労回復やあせも予防の効果があり、夏に向けて味方になってくれそうです。



六月中にサロン再開予定です

感染者数が落ち着き次第、ご予約受付を再開いたします。詳細が決まりましたら、メールマガジンなどで、お知らせいたします。

勝手を申しますが、今しばらくお待ちくださいますよう、お願い申し上げます。

音楽でリラックス 6月の一枚



ウクレレ・ハワイアン

松宮幹彦

ウクレレは、「ノミが跳ねる」という名前通りのかわいい音で、リズムをきざむのが役目です。でも、このアルバムでは、主役に脇役に大活躍。「カイマナ・ヒラ」や「アロハ・オエ」といったハワイアン・スタンダードに加え「月の夜は」や「南国の夜」など、特に日本で人気のある曲が選ばれています。

編集後記

庭のラベンダーでモイスト・ポプリを仕込みました。ところが、少し青臭く感じます。ラベンダーは向かないのかなあと悲しくなりましたが、二週間が経ち、青っぽいにおいは次第に落ちてきたようです。

モイストポプリの完成には、熟成期間を経て、一か月ほどかかります。古くなるほどいい香りになるなんて、わたしも見習いたいと思いました。